

10月13日(月)  
河北新報 掲載

## 運転操作が不要 電気自動車試乗

慶大、栗原で実験

「ト」(情報技術)と電  
気自動車を組み合わせ、



運転操作せずに走る電気  
自動車。市民モニターを  
目的地まで運んだ

高齢者が自由、安全に  
移動できる「コ・モビリ  
ティ」社会づくりの実証  
実験に取り組む慶大は  
十二日、細倉メインプラ  
ザ(栗原市鷺沢)で市民  
モニターによる電気自動  
車の試乗実験を行った。  
モニターの女性七人が  
タッチパネルで迎え先や  
行き先を選択すると、電  
気自動車が無人で走り、  
モニターの前で停車。乗  
車した人は運転操作する

ことなく、指定の目的地  
に到着した。

無人移動販売車による  
買い物も体験した。モニ  
ターは車に積まれた商品  
を手に取りながら、搭載  
されたカメラを通じて離  
れた場所にいる研究員と  
やりとりした。

モニターの大関智恵さ

ん三三は「乗り心地は良  
かったが、カーブが少し  
怖かった。遠くまで行け  
るようになったら便利だ  
と思っ」と話した。

本記事は河北新報社の著作物であり、許可を得て掲載しています。  
無断転載および複製を禁じます。